

高等教育活性化シリーズ 139(通算 412 回)

2009 年 3 月 11 日 (水)

法人経営の内部統制とリスク管理 —  
**大学法人の監査業務強化と報告の進化**

高等教育計画シリーズ 122(通算 413 回)

2009 年 3 月 18 日 (水)

大学リスク管理・コンプライアンスの責務 —  
**財務・経営情報公開と説明責任の進化IV**

法人経営の内部統制とリスク管理 —  
**大学法人の監査業務強化と報告の進化**

～学校・国公立大学法人の監査環境整備の新展開とその実際～

- ※ 今、日本の大学がなすべきこと／監査の基盤／ガバナンスとリスク管理／大学監査協会の創設
- ※ [学校法人] 青山学院の内部統制と監査業務の進化／監査室の機能と役割／内部監査の実際
- ※ [国立法] 宇都宮大・福島大の経験／内部統制と監査業務の今・進化／監事のジレンマと希望
- ※ [業務監査] 教育分野 (授業参観・改善) への取組み／教員授業実施・学生受講規程／授業改革

● 講師陣 ●

- |         |   |                                       |
|---------|---|---------------------------------------|
| 藤田 幸男 氏 | ／ | 大学監査協会 専務理事、前・(学) 芝浦工業大学理事長           |
| 江積 恵 氏  | ／ | (学) 青山学院 監査室長                         |
| 佐藤 博明 氏 | ／ | (国) 福島大学 監事<br>前・(国) 宇都宮大学監事、元・静岡大学学長 |
| 河田 亨 氏  | ／ | (学) 福島学院 監事<br>元・福島民報社代表取締役専務・編集主幹    |

2009 年 3 月 11 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

大学リスク管理・コンプライアンスの責務 —  
**財務・経営情報公開と説明責任の進化IV**

～2008年度決算・事業報告書の要点と留意点～

- ※ 決算処理の要点～重要情報・注記事項等／最近の経済情勢下の決算姿勢／事業報告の説明責任
- ※ 情報発信こそ大学改革の原動力／「総合ランキング」はこう作られる／大学関係者への期待
- ※ [共立女子学園] USRマネジメントの体制構築／“キャンパス・リメイク”／目的別情報開示
- ※ [芝浦工業大学] 事業計画 (経営・教学ビジョン) の策定プロセス／情報公開・周知活動の実際

● 講師陣 ●

- |         |   |   |
|---------|---|---|
| 宮 直仁 氏  | ／ | 宮直仁公認会計事務所長 公認会計士<br>日本公認会計士協会 学校法人委員会委員長 |
| 三上 直行 氏 | ／ | 『週刊東洋経済』副編集長                              |
| 山中 大樹 氏 | ／ | (学) 共立女子学園 総合企画室                          |
| 早乙女 徹 氏 | ／ | (学) 芝浦工業大学 理事・財務部長                        |

2009 年 3 月 18 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[ 参加要領 ]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 139 「大学法人の監査業務強化と報告の進化」  
 2009年3月11日(水) 9:40~16:50  
 高等教育計画シリーズ 122 「財務・経営情報公開と説明責任の進化IV」  
 2009年3月18日(水) 9:40~16:40

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です  
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)


参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び収録カセットテープ送付)
高等教育活性化シリーズ 139 大学法人の監査業務強化と報告の進化	42,000円 (消費税込)	34,000円(送料、消費税込) ※3講師分のみの配布
高等教育計画シリーズ 122 財務・経営情報公開と説明責任の進化IV	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。  
 ※新年度(4月以降)の振込でもかまいません。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。  
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替: 00110-8-81660  
 口座名 (株)地域科学研究会  
 (なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2009年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 139 大学法人の監査業務強化と報告の進化  
 当日参加  メディア参加
- 高等教育計画シリーズ 122 財務・経営情報公開と説明責任の進化IV  
 当日参加  メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 ～ 11:10	<p><b>□ 学校法人の監査環境の整備</b> ～三様監査の充実～</p> <p style="text-align: right;">大学監査協会      <b>藤田 幸男</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いま、日本の大学がなすべきこと             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境の悪化</li> <li>(2) 大学が果たすべき社会的責任</li> <li>(3) 大学の評価と監査</li> </ol> </li> <li>2. 学校法人の監査の基盤             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 法定監査と任意監査</li> <li>(2) 法定監査としての監事監査と会計士監査</li> <li>(3) 任意監査としての内部監査</li> </ol> </li> <li>3. ガバナンスの強化と監査             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校法人のガバナンス</li> <li>(2) ガバナンスとリスク・マネジメント</li> <li>(3) 三様監査と理事会</li> </ol> </li> <li>4. 三様監査の新しい展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学監査協会の創設</li> <li>(2) 監査の社会的意義の再確認</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:20 ～ 12:50	<p><b>□ 学校法人の内部統制と監査業務の進化</b> ～青山学院における内部監査の実際～</p> <p style="text-align: right;">(学) 青山学院      <b>江積 恵</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 監査室設置までの経緯</li> <li>2. 監査室の機能と役割             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 監査室の設置にあたって</li> <li>(2) 内部監査の役割</li> <li>(3) 監査室の構成員</li> <li>(4) 内部監査の概要</li> </ol> </li> <li>3. 内部監査の実際             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 業務監査とは</li> <li>(2) 業務監査の観点・視点</li> <li>(3) 業務監査のプロセス</li> </ol> </li> <li>4. 業務監査を実施して             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主な監査結果から</li> <li>(2) 常任監事と公認会計士との連携</li> <li>(3) これからの監査室</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 ～ 15:20	<p><b>□ 国立大学法人の内部統制と監査業務の進化</b> ～宇都宮大学、福島大学の経験から見えたもの～</p> <p style="text-align: right;">(国) 福島大学      <b>佐藤 博明</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部統制システムは経営の標準装備             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 持続可能な経営・C(U)SRとしての内部統制システム</li> <li>(2) キーワード：コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス/リスク管理</li> <li>(3) 基本的枠組み(日本版COSOキューブ)：4つの目的と6つの基本要素</li> </ol> </li> <li>2. いまなぜ、国立大学の内部統制か？             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 経営環境：競争原理と自主・自律/教学と経営/リソース(ヒト・モノ・カネ)</li> <li>(2) 改革課題：マネジメント(理念・意思決定・執行)/風土(文化)/教職員のマインド</li> <li>(3) PDCAサイクルと内部統制システム</li> </ol> </li> <li>3. 国立大学の監査業務はいま             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 監査の視点：業務の効率性・効果性/会計の適正性・信頼性/環境対応</li> <li>(2) 監査環境と連携体制：ボードの姿勢・改革力/実効的三様監査(会計・監事・内部)</li> <li>(3) 監事監査の機能(モニタリング)と役割(改革・改善)～宇都宮大学、福島大学の事例</li> </ol> </li> <li>4. 監査業務はどう進化したか？             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学業務のリスクと対応：[事例] 研究費の不正使用、入試ミス、定員割れ等</li> <li>(2) 福島大学版「公正研究遂行基本方針」、「公的研究費管理・監査計画」</li> <li>(3) 福島大学にみる内部監査(監査室)体制の整備と運用、機能</li> </ol> </li> </ol> <p>α. 監事のジレンマと希望</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:50	<p><b>□ 「業務監査(授業参観・授業改善)」への取り組みー実施5年の経験</b> ～教員授業実施規程・学生受講規程の運用と授業改革～</p> <p style="text-align: right;">(学) 福島学院      <b>河田 亨</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 業務監査の新分野「授業参観」             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 危機意識の中で</li> <li>(2) 教員のマンネリと独善を排す</li> <li>(3) 学生は変わった、モノもいう</li> </ol> </li> <li>2. 「タメになり、思い出に残る授業」の構築             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教室のムードを変える</li> <li>(2) “始め”が肝心</li> <li>(3) “平盤”から“立体授業”へ</li> </ol> </li> <li>3. 単位取得か、学力重視か             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「評価法」「教科書」も反省の対象に</li> <li>(2) 出欠確認に工夫の跡</li> <li>(3) “静”から“動”の「シラバス」を</li> </ol> </li> <li>4. “参観効果”がもたらした「授業改革」             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員のFD研修が軌道に</li> <li>(2) 環境改善にも一役</li> <li>(3) 監事はチェックと旗振り役</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
9:40 ～ 11:20	<p>□ 2008年度決算処理の要点と説明責任 ～計算書類の注記事項記載の留意点～ 日本公認会計士協会 宮 直仁</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「学校法人会計基準」における計算書類の作成目的             <ol style="list-style-type: none"> <li>「学校法人会計基準」で求めている計算書類</li> <li>各計算書類の目的</li> <li>計算書類作成のための帳簿体系</li> </ol> </li> <li>計算書類の私立学校法と私学振興助成法との関連             <ol style="list-style-type: none"> <li>私立学校法における計算書類</li> <li>私学振興助成法における計算書類</li> </ol> </li> <li>計算書類に盛り込まれる情報の充実について             <ol style="list-style-type: none"> <li>会計基準第34条及び通知1号に示される注記内容</li> <li>重要な会計方針</li> <li>重要な会計方針の変更</li> <li>その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項</li> </ol> </li> <li>最近の経済情勢を踏まえた決算姿勢             <ol style="list-style-type: none"> <li>有価証券の時価情報と説明責任</li> <li>第2号基本金、第3号基本金に関する事業計画の見直しの実施と基本金の取崩し</li> </ol> </li> <li>来年度以降の会計処理、決算処理に影響を与える事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>リース取引に関する会計処理</li> <li>ソフトウェアに関する会計処理</li> </ol> </li> <li>私立学校法で求められている事業報告書で果たす説明責任 (質疑応答)</li> </ol>
11:30 ～ 12:30	<p>□ 情報発信こそ大学改革の原動力だ！ ～「本当に強い大学」特集を通してみる大学への期待～ 『週刊東洋経済』 三上 直行</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>経済誌はなぜ大学特集を組むのか             <ol style="list-style-type: none"> <li>大学特集への高まる関心</li> <li>「経営体」として大学を捉える</li> <li>『週刊東洋経済』誌大学特集の変遷</li> </ol> </li> <li>「大学総合ランキング」について             <ol style="list-style-type: none"> <li>なぜマスコミはランキングが好きなのか</li> <li>総合ランキングはこうして作られる</li> <li>問題点と今後の課題</li> </ol> </li> <li>マスコミ(読者)が求める情報発信とは             <ol style="list-style-type: none"> <li>明確性、差別化、社会的意義</li> <li>大学の利害関係者とは誰なのか</li> <li>情報発信は組織を鍛える</li> </ol> </li> <li>まとめ (質疑応答)</li> </ol>
13:30 ～ 15:00	<p>□ [共立女子学園] 財務・事業情報の開示と説明責任の実際 ～USRマネジメントの体制構築と報告書作成～ (学) 共立女子学園 山中 大樹</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>USR(大学の社会的責任)と情報開示             <ol style="list-style-type: none"> <li>USRの定義と概念</li> <li>USRの視点に基づく情報開示</li> <li>USR実践の課題</li> </ol> </li> <li>本学における改革と財務・経営情報公開の取組み             <ol style="list-style-type: none"> <li>学園の永続維持を目指した財政施策の実行</li> <li>大学・短期大学の将来構想の実現</li> <li>目的別・機能別予算制度の導入と情報開示</li> </ol> </li> <li>「キャンパス・リメイク」を実現するための課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>“創造的な”PDCAサイクルの構築</li> <li>“コミュニケーション”の充実によるUSRの実現</li> <li>“目的別情報開示”の実現</li> </ol> </li> </ol> <p>(質疑応答)</p>
15:10 ～ 16:40	<p>□ [芝浦工業大学] 財務・事業情報の開示と説明責任の実際 ～事業計画の策定・周知と情報公開の工夫～ (学) 芝浦工業大学 早乙女 徹</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>芝浦工業大学の事業計画             <ol style="list-style-type: none"> <li>経営ビジョン(未来への約束)</li> <li>教学ビジョン(チャレンジSIT90)</li> </ol> </li> <li>事業計画の策定作業             <ol style="list-style-type: none"> <li>法人運営に関する夏期集中討議</li> <li>予算会議(ビジョンの周知、財政見直し、予算編成方針)</li> <li>予算編成(ヒヤリング、事業計画の策定、事業計画別予算の整理)</li> </ol> </li> <li>事業計画の周知と情報公開             <ol style="list-style-type: none"> <li>ビジョンの公表、事業計画の周知</li> <li>情報公開                     <ol style="list-style-type: none"> <li>① 財政公開ウィーク</li> <li>② ホームページによる公開</li> <li>③ 父母懇談会</li> <li>④ 各種媒体による公開</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>開示情報のいろいろ             <ol style="list-style-type: none"> <li>S.O.S(Support of S.I.T)</li> <li>キャリアサポート</li> <li>地域との連携</li> <li>コンプライアンス</li> </ol> </li> </ol> <p>(質疑応答)</p>